

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(越川工業株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	□	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	差別は発生していない。また差別が発生しないよう、就業規則にて差別禁止に関する方針を定めている。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントは発生していない。また発生防止に向け月1回の管理職以上の会議にてハラスメント禁止に関する旨を周知徹底する。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1			
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	長時間労働とならないよう、労務担当から長時間勤務者へアナウンスすることで残業防止に取り組んでいる。								8.5 8.8									
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者に向け、食堂・住環境の整備をしている。また相談窓口を設けている。				4.4			8.7 8.8	10.2 10.3									
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	月1回の安全衛生会議にて各職場へ周知徹底するよう注意喚起を行っている。また外部業者による粉塵量の計測を行い、衛生的な労働環境の整備に努めている。			3				8										
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	健康維持に関する方針を策定している。また保険会社協力のもと、専用のコールセンターを外部に設けている。			3														
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	外国人向けの宿舍の用意、高齢者の雇用、また産休・育休・介護休暇の規定を設けており、誰でも働ける環境を整えている。					5.1 5.5		8.5	10.2 10.3									
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	業務に必要な資格に関して会社が100%費用を負担することで従業員の能力開発に努めている。			4	5.5			8	9									
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	就業規則において労働基準法に則り対応している。また福利厚生の利用可能範囲についてもルールを設け明記している。					5.5		8.5	10.2 10.3									
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	毎年定期健康診断を受診し、従業員の健康状態の把握に取り組んでいる。			3				8										
環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	事業活動において排出される廃棄物の種類と量を把握し、適切な処理を行っている。									11.6 12.4	14.1							
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電気・水道・ガス・ガソリンの使用量を把握している。						7.3				13							
	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	電気使用に伴うCO2排出量を把握しており、またLED化を進めるなどして電気の使用量削減に努めている。また、カーボンフットプリントの電力の利用を推進している。					7.2 7.3				12.4 13.3								
	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害化学物質の抑制に向け、洗車や洗浄における有害化学物質を把握し抑制に努めている。また、処理装置を使用し、適切な処理を行っている。			3.9		6.3				11.6 12.4								

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	生態系に影響が及ぼさないよう騒音・粉塵・汚染水に留意し、環境保全に努める。						6.6								15			
16	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	製品形成の砂型を再利用・再形成している。また鉱物の再資源化に取り組んでいる。									12.5	14.1							
17	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	井戸水を使用することで、水道水の使用削減に取り組んでいる。						6.4 6.6											
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】今後の取得を検討していく。			3.9		6	7				12	13.3	14	15				
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】今後HP等を通じて環境の取り組みについて正しく公開していく。										12.6							
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	ソーラーパネルの設置を進めている。							7.2				13						
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	再生紙の使用や井戸水の利用により資源の持続的利用を進めている。										12.2	13	14	15				
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	取引先とのガイドラインに則り、絶対に汚職が発生しないよう厳重に注意している。														16 16.5			
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	取引先企業との適切ではない契約が行われることが無いよう高い倫理観を持って厳重に注意している。														16			
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産の侵害に当たらないか、取引先と対話を行い、チェックしている。							8.2 8.3	9									
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	【予定】情報漏洩が発生しないようマニュアルの整備と周知徹底を進めている。														16			
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取り扱いはない。														16			
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】取引先との対話を通じて、各社の取り組み状況を把握し、協力しながらSDGsの達成ができるよう努めていく。				5			8		10	12	13	14	15	16	17		
28	□	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表していく。			3					8	9	10					17		

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

